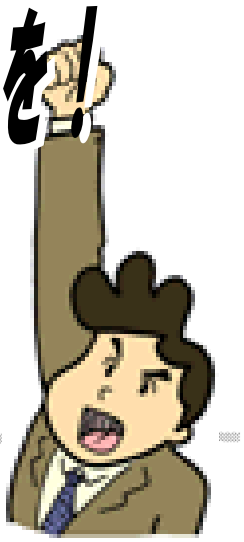
第15号
2013年11月7日

郵政産業ユニオン TOKYO・NEWS

● 発　　行 ●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　　鵜島　一広
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

誇りを持ち、希望を持ってはたらける職場を！

貴方の加入が職場を変える力です



『新人事・給与制度』で将来が不安だ」「ポイント制が導入されれば毎日がプレッシャーで胃が痛くなりそうだ」いま、職場から悲痛な声があがっています。それだけに、働く者同士が競争するのではなく、職場を変え、働くルールの確立をめざして団結することが必要です。

郵政産業ユニオンは、職場のパワハラを許さず、賃金・労働条件向上をはじめ、「正社員があたりまえ」の社会の実現をめざして活動しています。

「採用後すぐに組合に加入。2年ほど前に班長（当時）のパワハラを組合に相談したが『お互い組合員』ということで話にならずJP労組を辞めた」11月4日、JP労組組合員からこのような相談がありました。

本来頼りになるはずの労働組合が組合員の相談にまともに耳を傾けず、会社に顔を向けて1時間カットや人減らしに賛成し、パワハラや日頃の仕事の相談も取り上げてくれなくては本来の労働組合の役割を果たしているとはいえないのではないでしょうか。

ブラック職場が多発

会社は、株式上場に向けて人件費削減や経費削減に夢中です。職場では、休憩や残業代、職場環境など労基法や労働安全衛生法・規則をも無視した働かせ方が横行しています。結果、交通事故や労働災害が多発し、労基署から改善命令を受ける郵便局もでて深刻な事態となっています。

「修理代は自腹で払え」「この場で辞表を書け」「サラ金に借りてでも買え」「次のスキルは下げるぞ」「次回の更新はないとおもえ」など特に弱い立場の期間雇用社員には言いたい放題です。

組合加入は郵政産業ユニオンへ！

いま、まともな労働組合の力が必要です。

会社が赤字だから、景気が悪いから、事業が危機だからと労使が一体となって働くもののルールを無視してまで働かせてよいはずがありません。

郵政産業ユニオンは、働く者の立場に立ったまともなたたかう労働組合です。

組合加入は迷わず郵政産業ユニオンに！

頼りにならない組合には「さようなら」を！

未来をみつめてご一緒に行動しましょう。